



5月ほけんだより



社会福祉法人寿康会
認定未来子ども園
看護師 浅倉和子

新年度のスタートから、早くも1ヶ月が経ちました。
それぞれのクラスでは園での生活にもすっかり慣れて、園庭からは子ども達の楽しそうに、はしゃぐ声が聞こえてきます。

5月は1年のうちで最も過ごしやすい季節と云われています。
新年度からの日常にも慣れ、気持ちも何となくウキウキして活動的になります。
そんな時に注意して頂きたいのが事故です。

落ちた！ 軽んだ！ はさんだ！ 切った！ 打った！ 等の他にもせけど！
おぼれた！ 窒息！ 等々、身の回りには危険がいっぱいです。
事故は思いもよらない状況で起こる事が多いのです。

- 落ちた・転んだ・・・ベビーバッド・マンション等のハンダの手すり等から身を乗りこして転落した。室内の電気製品のコードにつまづいて転倒した。
- 切った・刺さった・・・シレッタに手を入れ、指を切断した。
・食事中に椅子から転落し箸やフォークが咽喉頭や目に刺さった。
・綿あめを食しながら歩いて転んで棒が咽喉頭に刺さった。
- せけど・・・スチッチを切って、片付け前のアイロンに触った。
・炊飯器や電気ポットの蒸気口に手を触れた。
- 窒息・おぼれた・・・スーパのレジ袋等で遊んでいるうち頭からかぶって脱げなくなってしまった。・入浴中大人が洗髪している時に滑って頭から浴槽に落ちた。

上記以外にも挙げればキリがありません。

- 大人の内服薬を、かりテーブルの上に出しっぱなしにしていた。(例:降圧剤・解熱剤等)
- 子どもがテレビ等のリモコンで遊んでいる間に落ちて取り出し、中のボタン電池がはすれ口に入れてしまった。(胃や食道にせけどの症状が現われ重篤状態になる)
- 買い物から帰って片付けていたら食料と一緒に入っていた保冷剤をかじっていた。
- 車の窓の自動開閉をしていて指をはさんでしまった。

大人がちょっと気を付けて目を離さなければ防げる等の出来る事故が多いのです。もう一度、お部屋の中を見廻してみよう。

